

大会名称: **東日本大震災復興支援
第9回全日本社会人バスケットボール選手権大会**

開催場所: **広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) Aコート**

試合区分: **No. 19 男子 3位決定戦**

期 日: **2013(H25)年11月4日(月)**

主審: **堀内 純**

開始時間: **12:50**

副審: **茅野 修司、稲山 泰樹**

曙ブレーキ工業		○	22 - 21 24 - 9 16 - 25 29 - 16 - - -					●	富士通						
(実業団2)		91						71	(実業団4)						
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
3		庫山 隼輔	2	0	1	0	1	0		田中 將道	-	-	-	-	-
7		石井 孝生	10	0	5	0	2	2		小倉 久典	0	0	0	0	1
8	*	佐々木 陽	16	0	8	0	1	5	*	成田 拓明	8	0	4	0	1
9	*	熊 吉	5	0	2	1	3	6	*	山崎 将也	10	0	3	4	1
11		真栄田 佑	0	0	0	0	0	7		上吹越 更太	-	-	-	-	-
15	*	田中 洋貴	16	2	3	4	2	9		片桐 啓吾	0	0	0	0	1
16	*	根元 裕貴	4	0	2	0	3	11	*	傳田 知也	20	2	7	0	1
17	*	田村 晋	4	0	2	0	1	13	*	三浦 直仁	3	1	0	0	0
25		渡邊 純平	0	0	0	0	0	15		中務 健治	-	-	-	-	-
31		駒水 豪	2	0	1	0	1	17		岩谷 駿汰郎	1	0	0	1	0
32		藤原 勇介	4	0	2	0	1	20		篠原 賢	-	-	-	-	-
34		金城 真悟	12	1	4	1	0	24		于 春龍	-	-	-	-	-
87		河本 裕一	16	2	5	0	3	32		中山 徹大	4	0	2	0	0
								34	*	三浦 洋平	24	3	6	3	1
								38		津本 直哉	-	-	-	-	-
								88		小川 起央	0	0	0	0	0
								91	*	久米田 幸一	1	0	0	1	1
コーチ		城迫 昇 / TEAM						コーチ		三浦 岩夫 / TEAM					
		合計	91	5	35	6	18			合計	71	6	22	9	7

S: スターター

PTS: ポイント

3P: 3ポイントシュート

2P: 2ポイントシュート

FT: フリースロー

F: ファール

第1ピリオド:両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。オフェンスでは富士通が果敢にドライブを仕掛けるのに対し、曙ブレーキはハイポストを使ったセットプレーで得点を重ねる。両チームとも一試合の疲れを感じさせない俊敏な動きで互角に点を取り合い、富士通21—22曙ブレーキで第1ピリオド終了。

第2ピリオド:開始直後、富士通#11傳田がロングシュートを決めるものの、その後は曙ブレーキのディフェンスの前に、しばらく得点できない時間が続く。一方の曙ブレーキは、ハイポストを生かしたゴール下シュートを中心にオフェンスを展開し、着実にリードを広げる。さらに、富士通の鋭いドライブに対応した曙ブレーキは、ディフェンスから速攻につなげるリズムを生み出し、富士通30—46曙ブレーキで前半終了。

第3ピリオド:ゴール下を固めた富士通は、曙ブレーキのハイポストを封じ、逆にディフェンスリバウンドから速攻を次々と繰り出して攻勢の流れを作る。あと一步の追い上げを見せる富士通に対し、曙ブレーキは外からのシュートで追従を許さない。富士通55—62曙ブレーキで点差が縮まり、勝負の行方は最終ピリオドへ。

第4ピリオド:富士通は開始から立て続けにシュートを狙うが、リングに嫌われ得点できない。その間にも曙ブレーキは、中と外を上手く使い着実に点を重ねる。残り5分を過ぎ、両チームともターンオーバーが増えてきた時間帯に、速攻の数で勝る曙ブレーキが再びリードを広げる。後半に底力